

平成22年度「国語に関する世論調査」の結果の要点

1. 言葉や言葉の使い方に関心があるか

8割を超える人が「関心がある」と回答。平成18年度調査からは4ポイント増加。特に「日常の言葉遣いや話し方」「敬語の使い方」への関心が高い。

○問1 「あなたは、日常の言葉遣いや話し方、あるいは文章の書き方など、言葉や言葉の使い方について、どの程度関心がありますか。」

(数字は%)

関心がある (計)		関心がない (計)		分からない
81.1【77.4】		18.6【22.2】		
非常に関心がある 20.0	ある程度関心がある 61.2	余り関心がない 16.2	全く関心がない 2.4	
【17.9】	【59.5】	【18.9】	【3.3】	

【 】内は平成18年度調査

○問1付「では、どのような点に関心がありますか。」

		【平18年度】
・日常の言葉遣いや話し方	72.8%	73.7%
・敬語の使い方	65.5%	65.5%
・言葉の意味・由来やその歴史	25.4%	22.9%
・文字や表記の仕方あるいは文章の書き方	24.7%	23.3%
・新語・流行語	17.9%	17.6%
・パソコン・ワープロ・携帯電話などの情報機器が国語に与える影響	16.4%	13.0%
・発音やアクセント	15.2%	15.4%

2. 「れる／られる」について

「来れる」「見れる」「出れる」を使う人の割合が、「来られる」「見られる」「出られる」を使う人の割合に接近している。一方、「考えれない」を使う人は1割に満たない。

○問6 「二つの言い方のどちらを使いますか。」

(1) 「こんなにたくさんは食べられない／こんなにたくさんは食べれない」		【平17年度】
食べられない	60.2%	66.7%
食べれない	35.2%	26.6%
どちらも使う	4.0%	6.1%
(2) 「朝5時に来られますか／朝5時に来れますか」		
来られますか	47.9%	52.7%
来れますか	43.2%	35.4%
どちらも使う	8.1%	10.6%
(3) 「彼が来るなんて考えられない／彼が来るなんて考えれない」		
考えられない	88.2%	89.3%
考えれない	8.1%	5.7%
どちらも使う	2.3%	3.0%
(4) 「今年は初日の出が見られた／今年は初日の出が見れた」		
見られた	47.6%	
見れた	47.2%	
どちらも使う	4.9%	
(5) 「早く出られる？／早く出れる？」		
出られる？	48.0%	
出れる？	44.0%	
どちらも使う	7.5%	

### 3. 消滅の危機にある言語・方言について

※ 平成21年2月、ユネスコ（国連教育科学文化機関）は「Atlas of the World's Languages in Danger」を発表し、世界で2,500に上る言語が消滅の危機にあるとした。日本国内では、アイヌ語、沖縄県の八重山語、与那国語、沖縄語、国頭語、宮古語、鹿児島県奄美諸島の奄美語及び東京都八丈島などの八丈語の8言語・方言がその中に含まれている。

国内で消滅の危機にある言語や方言について、約半数の人が「消滅しないような対策が必要」と回答。具体的には「指導者や後継者の育成」「現状を把握するための調査」等が必要と指摘。

○問10 「国内で消滅の危機にある言語や方言について、あなたはどのように考えますか。」

(数字は%)

そのような言語や方言が消滅しないような対策が必要である	言語や方言が消滅するのは仕方がないことなので特に対策は必要ない	どちらとも言えない	分からない
49.6	17.8	29.5	3.2

○問10付 「それでは、あなたはどのような対策が必要だと思いますか。」

・指導者や後継者の育成	54.0%
・現状を把握するための調査	47.1%
・その言語や方言を知ってもらうための催し	44.4%
・地域や民間による方言教室などの取組	32.5%
・学校教育での指導	32.0%
・優れた取組に対する国からの経済的支援	15.2%
・優れた取組に対する国からの表彰	5.6%
・「方言の日」等の制定	5.6%

### 4. 公用文の在り方についての意識

「公用文作成の要領」（昭和27年内閣官房長官依命通知）で用いないこととされている言葉の多くについて、現代の「日常生活で見掛ける」と回答。

○問11 「(1)～(12)の言葉について、どのように感じますか。」

(数字は%)

	日常生活でよく見掛ける言葉だと思う	日常生活で時々見掛ける言葉だと思う	日常生活で見掛ける(計)	日常生活では見掛けない言葉だと思う	分からない
(1) 措置	51.7	30.0	81.7	16.9	1.4
(2) 救援する	63.9	26.5	90.4	8.9	0.7
(3) 懇請	10.0	21.4	31.5	64.6	3.9
(4) 一環として	58.3	29.5	87.8	10.8	1.4
(5) 充当する	47.2	31.4	78.6	19.8	1.6
(6) 即応した	47.5	30.6	78.1	20.2	1.7
(7) 牙保	2.0	5.7	7.7	82.0	10.3
(8) 拒否する	81.7	13.7	95.4	3.9	0.7
(9) 阻む	56.9	27.4	84.4	14.3	1.4
(10) 充填する	28.4	29.0	57.5	38.6	3.9
(11) 堅持する	35.5	32.9	68.4	28.8	2.8
(12) 陳述する	44.4	32.9	77.3	20.9	1.9

5. 慣用句等の使用や意味の理解

「雨模様」「姑息」「号泣する」などは本来とは違う意味で多く使われている。また、本来の言い方ではない「間が持たない」「声を荒（あ）らげる」などを使う人が多数。

○問25 「どちらの意味だと思いますか。」

- (1) 情けは人のためならず  
(ア) 人に情けを掛けておくと、巡り巡って結局は自分のためになる……45. 8%  
 (イ) 人に情けを掛けて助けてやることは、結局はその人のためにならない……45. 7%
- (2) 雨模様 例文：外は雨模様だ。  
(ア) 雨が降りそうな様子……43. 3%  
 (イ) 小雨が降ったりやんだりしている様子……47. 5%
- (3) 姑息 例文：姑息な手段  
(ア) 「一時しのぎ」という意味……15. 0%  
 (イ) 「ひきょうな」という意味……70. 9%
- (4) すべからく 例文：学生はすべからく勉学に励むべきだ。  
(ア) 「全て、皆」という意味……38. 5%  
 (イ) 「当然、是非とも」という意味……41. 2%
- (5) 号泣する 例文：悲しみのあまり、号泣した。  
(ア) 「大声を上げて泣く」という意味……34. 1%  
 (イ) 「激しく泣く」という意味……48. 3%

注) 下線を付した方が本来の意味である。

○問26 「どちらの言い方を使いますか。」

- (1) 「することや話題がなくなって、時間をもて余すこと」を  
 (a) 間が持たない……61. 3%  
(b) 間が持てない……29. 3%
- (2) 「古くからのやり方にのっとりた様子で」を  
(a) 古式ゆかしく……67. 3%  
 (b) 古式豊かに……15. 2%
- (3) 「僅かの時間も無駄にしない様子」を  
 (a) 寸暇を惜しまず……57. 2%  
(b) 寸暇を惜しんで……28. 1%
- (4) 「大きな声を出すこと」を  
 (a) 声を荒（あ）らげる……79. 9%  
(b) 声を荒（あら）らげる……11. 4%
- (5) 「前に負けた相手に勝つこと」を  
(a) 雪辱を果たす……43. 3%  
 (b) 雪辱を晴らす……43. 9%

注) 下線を付した方が本来の言い方である。